

# ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijichu/wuzakkou/index.htm>

かび

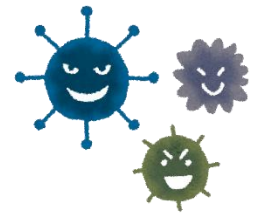
## 梅雨は、黴が生えないように

6月の和風月名は、水無月（みなづき）です。「無」は「ない」の意味ではなくて接続詞「～の」で、由来は「水の月」という説が有力のようです。（国立国会図書館HPより）旧暦の6月は、今の7月上旬頃にあたるので、ちょうど梅雨が明けて初夏となり、「田んぼになみなみと水がある頃の月」という名称のようです。そして6月7日には、関東地方の梅雨入り宣言がありました。東アジアの雨期を日本では梅雨（バイウ、つゆ）と呼びますが、名称の由来は「梅の実がなる頃の長雨」というのが有力ですが、他にも黴（かび）が生えやすい季節なので「黴雨」と書き、黴の音読みは「バイ」なので「バイウ」となり、中国ではこの雨期を「梅雨（メイユウ）」と漢字で書くことが伝わり、カビより梅の方が印象は良いので、梅雨（バイウ）となったとの説もあります。「つゆ」という読み方は、雨に濡れた葉につく露（つゆ）の様子から、この雨期を「つゆ」と呼んでいた地域に、漢字の「梅雨」が伝わり、合体したのではとされているようです。



削除

梅雨時期は、湿度が高くてジメジメとして、気温も高いので、カビが生えやすい季節です。カビは植物でも動物でもない原生動物に分類される真菌類で、種子ではなく、胞子で増えます。胞子は顕微鏡でないと見えないほど小さくて軽く、空気中に常に漂っており、至る所にいて除くことは難しく、気が付くと食べ物などでカビが繁殖しています。カビは、湿度が高く、ジメジメした状態が好きなので、風通しを良くして、空気がよどむことがないようにし、太陽の光をあてて乾燥させ、掃除をするなど、環境をしっかりとすれば、防げます。



カビは、食べ物以外にも発生しますが、人の心にもカビは生えます。梅雨は湿度が高く、人が感じる不快指数も高くなる時期で、心がイライラしてトラブルになったり、心がネガティブになったり、物事の良し悪しを判断する心がくもったりとします。しかしこれも防げます。困ったときには、人に話してみる。話を聞いてあげるなど、風通しを良くする。誰もが楽しく過ごせる学級づくりをする。整理整頓をするなど、生活環境を整えることです。そして、現在の自分の心の状態をチェックするのも有効な方法なので、近々そのような取り組みも始める予定です。

今年の梅雨入りは平年並みでしたが、平年だと梅雨明けは7月19日で、夏休みに入ってからになります。後ひと月と少しは、梅雨が続きますので、黴が生えないようにしましょう。

ちなみに、全部の黴が物をダメにするわけではありません。発酵など人に有益な黴たちもいます。



## 十小1年生児童と、ひまわりの種まきをしました。 6/5(金) 1年生

1年生は6月5日（金）の午後、「ひまわりフェスティバル」会場で、ひまわりの種まきボランティアをしました。今回は小中連携の取り組みとして清瀬第十小学校1年生の児童の皆さんも参加しており、本校の生徒が児童の皆さんのサポートをしながら一緒に種を蒔きました。この4月入学した児童の皆さんとは初対面でしたが、上手に接して、お世話をしてくれました。ありがとうございました。ひまわりが咲くのが楽しみです。

当日は、清瀬市長原田様をはじめ、フェスティバル主催の「清瀬市農ある風景を守る会」会長であり、本校のひまわり農園でもご指導を頂いている松村様も参加下さり、児童・生徒からの質問に答えて下さるなどの交流をさせて頂きました。



児童・生徒たちが蒔いた場所は、会場北側入口付近で、25m プール2つほどの面積ですが、会場全体は約24,000平方メートルもあり、約10万本のひまわりが咲くそうです。今年の開催は、7月18日（土）～26日（日）とのことです。詳細につきましては、市のHP等をご覧ください。

# 6月は、5惑星をゲットしませんか？

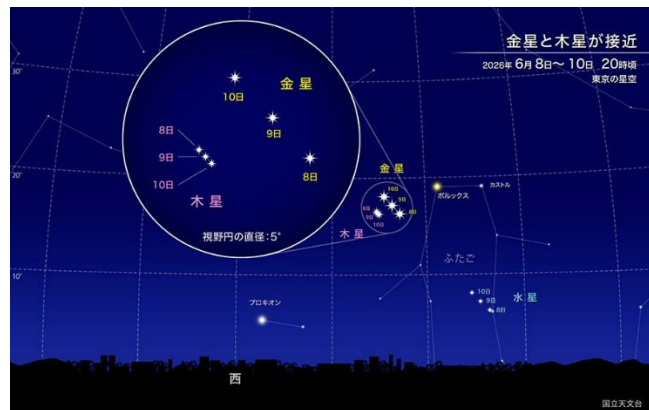
## ブルームーンを見ましたか？

5月31日のブルームーンを見ましたか？ 朝は曇り空でしたが、午後からは晴れ間がのぞき、夜空には、煌々と輝く満月が浮かんでいました。この満月はまた、今年の13回ある満月のうち、もっとも地球から遠くにあり、一番小さく見える満月でもありました。次回のブルームーンは、2028年12月31日の大晦日です。



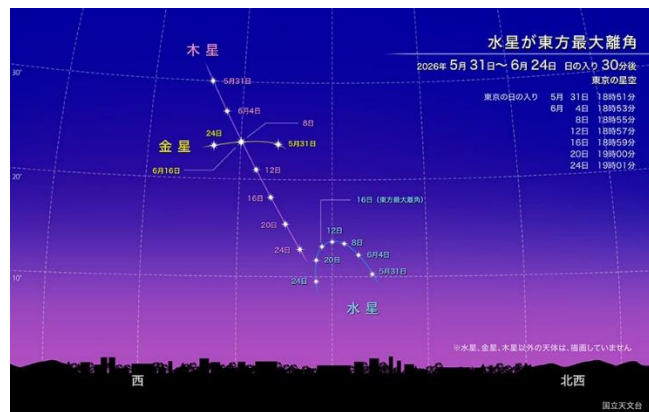
## 夕方 6月8日(月)～10日(水)は、金星と木星が、超接近します。

6月は梅雨時期となり、なかなか星空をみるのができませんが、今月は、惑星を観測するには絶好のチャンスです。肉眼で観測できる5つの惑星が、地球の夜側に集まっているので、「夕方の西の空に、水星・金星・木星」、「朝方の東の空に、火星と土星」を見つけることができます。惑星たちは、日ごとに星座間で位置を変えますが、それぞれの動きはバラバラで、まさしく惑わせる星です。6月8日～10日は、日没後の西の空で、-4等に輝く金星と、-1.9等の木星が、ほぼくっつくに接近します。ぜひこの機会に、微妙な色の違いを比べて見て下さい。この頃の日の入りは午後6時55分で、日没後30分ほどで空はだいぶ暗くなりますから、午後7時30分～8時頃にベランダなど、高い場所から西の空を眺めると良いと思います。そして、2つの惑星の右には、ふたご座の1等星ポルックスとカストル、右下には水星がいます。この時期の水星は、高度が低く、見つけにくいと思いますが、挑戦して下さい。



## 夕方 6月16日(火)～24日(水)は、水星を見つけるチャンス！

現在、金星は星座間でその位置を、だんだんと東側(左上の方角)へ変えています。木星は西側(右下の方角)へ移動しているために段々と離れ、こんどは水星に近づきます。水星は惑星の中で、一番太陽の近くを回っているため、地球からの見かけの位置は、常に太陽のそばにいます。天文台などの大きな望遠鏡を使うと、昼間に観測ができますが、位置がわからないと至難の業です。そのため、日の出の直前の東の空か、日の入りの直後の西の空のとても低い位置にしか見ることができず、観測が難しい惑星ですが、その中でも現在は、太陽から一番離れている時期で、観測するチャンスです。



## 朝方 6月10日(水)～13日(土)

### は、火星、土星、細月が大接近！

この時期、火星と土星も、朝方に観測できます。土星は真夜中に、火星は夜明け前に東の空に昇ってきます。両方が観測できるのは、日の出の1時間前くらいになりますが、赤く輝く火星と、黄色く輝く土星を見比べられます。そしてちょうど、新月直前の細い月が、2つの惑星の近くにいます。4月の火・水・土星の接近を見逃した方は、是非、挑戦して下さい。

